



み
あ
さ
づ



く
り

8/26

美麻地区で初開催

大町市地震総合防災訓練が、美麻地区で初めて、支所駐車場を会場に8月26日に行われました。

訓練には、大町消防署や消防団、各種関係機関、自主防災会、地元住民など約450人が参加し、有事に備えて様々な訓練をしました。



QRコードを読み取ってパソコンやスマホでホームページをご覧ください。



ホームページ
美麻Wiki



facebook





みあさっこレストラン開催しました！

平成29年度会員活動支援事業報告

8/10

総合福祉センター梨嶺の調理室にて、地域づくり会議会員支援事業として、作る・学ぶ・おもてなしする「こども料理教室みあさっこレストラン」を開催させていただきました。

当日は、小中学生29名、大人ボランティア5名のメンバーが集い、賑やかに夏休みの1日を過ごしました。

地域の食材をお願いしたところ、新鮮で美味しいお野菜を地区の方より届けていただき、嬉しくありがたくいただきました。ありがとうございました！

スパイスの説明、食材を提供していただいた方の紹介、班分けして、スタート！

スパイスを使って夏野菜カレーを作ってみようというテーマで、カレー作り隊、薄焼きばんチャパティー作り隊、デザートサラダ作り隊、おもてなし隊の班に分かれて、調理からおもてなしまで挑戦しました。

調理室では、やる気に満ち溢れたこどもたちが、おうちでのお手伝いの様子をどんどん発揮し、ホールのおもてなし隊は、メニュー表を書いたり、予約席を作っておもてなしができるよう工夫しました。

ご予約のお客様席が6席、まかない席が3席！という不思議なレストラン。

梨嶺の職員様への配達も11食承り、みんなで出前配達もしました。

第1回ということで、不慣れな点多くご迷惑もおかけしましたことをお詫び申し上げます。今回の反省をいかし、次回はもう少し少人数に分かれて開催してみたいと思います。ご意見ご要望、リクエストもお待ちしております。ご協力いただきましたみなさま、どうもありがとうございます！

鈴木 幸



みあさ保育園の園庭で親子運動あそび参観

元気いっぱいみあさっこ

9/30

晴れ渡る青空の下で、みあさ保育園の園庭で親子運動あそび参観が行われました。時より雲がかかり、少し寒さを感じることもありましたが、子供達は寒さを感じることなく元気いっぱい！！

元気いっぱいの子供達と一緒に準備運動からスタート。「エビカニクス」という曲でみんなで踊りました。名の通り、エビになったり、カニになったりします。元気になる一曲！スタートからみんな元気に踊れました。親の私達も寒さを感じることを忘れるくらいでした。

プログラムは盛りだくさん。よーいドン！のかけっこでは、未満児クラスは、まっすぐ先生に向かって一生懸命に走る姿がかわいかったです。幼児クラスは、未満児クラスとはまた違う顔を見せてくれました。年齢が上がるにつれ競争心がみることができたような気がします。

幼児と親子で、みあさトライアスロン！美麻ならではの、園庭の斜面を使って立ちこぎの三輪車で坂道を下ったり、子供がダンボールの上で泳ぐまねをするので、親がそれを引っ張りゴールまで走る！！いつの間にか、親のほう真剣に走ってしまっている姿が見受けられました。ひっぱれ！ひっぱれ！というプログラムでは、全親子で2



チームにわかれ、真ん中に並べてあるタオルを引っ張って、たくさんタオルを引っ張ってきたほうが勝ちというもの。みんなで、楽しく引っ張りあえて楽しかったです。他にもバルーンで遊んだりして、とても盛りだくさんのプログラムで楽しい時間を過ごすことができました。みんなで、元気いっぱいからだを動かしたあとは、美味しい給食もみんなで食べました。楽しい親子運動あそびを計画していただき、美味しい給食を作っていただき、ありがとうございました。

松本山雅サッカー教室

9/17

みあさ保育園で松本山雅サッカー教室が行われました。松本山雅から片山さん、小林さん、渡邊さんの3名のコーチが来てくださいました。当日はあいにくの雨で室内での活動でしたが、子ども達は元気いっぱいコーチもびっくりするほどでした。鬼ごっこやボールを使った遊びで体を動かし、チームに分かれて試合をしました。真剣な顔でボールを追いかけシュート！「やったー!!」と大はしゃぎの子ども達でした。また、コーチの皆さんにボールを使った技を見せてもらい目を丸くしてびっくりの子ども達、「すごい！」と大興奮でした。

サッカーに興味を持ったり、体を楽しく動かす良い機会となりました。



美麻地区敬老会を開催

9/15

ほかほかランド美麻において美麻地区敬老会を開催しました。本年度は、敬老会対象者211名中81名の皆さんの参加がありました。最高齢者は本年度101歳を迎える大塩の藤川毅徳さんで、みあさ保育園児と美麻郵便局長さんから記念品が贈呈されました。また、本年度もみあさ保育園児のお遊戯と養老劇団の演芸があり参加者の皆さん楽しく歓談する事が出来ました。（美麻地区敬老会実行委員会事務局）



美麻ふれあいまつりで“お手伝いし隊”

8/19

美麻地区社協・美麻地区子ども会育成協議会・美麻公民館共催で夏休みなどの長期の休みを利用して、小中学生を対象に「お手伝いし隊」を開催しています。今年の夏休みも3回開催し、その中の一つ、「美麻ふれあいまつり」でのお手伝いし隊について紹介します。ふれあいまつりには、地区内の多くのお年寄りの方が参加することから、子どもたちが考えて、ペットボトルが開けやすい「ペットボトルキャップ」を作り、そのキャップをつけてペットボトルを販売しました。購入してくれた皆さんは、「これだと楽にキャップが開くね」

と言って喜んで購入してくれました。子ども達とお年寄りの皆さんで、良い交流ができたと思います。（美麻公民館）



大町やまびこまつり

8/15

平成18年1月に大町市と合併してから、12回目の参加になります。今年は「みあさ連」100名程の老若男女が「やま！かわ！さがってさがつて…」 「…ヤッホー」声を出して元気よく踊りました。お楽しみ抽選会で「みあさ連」は、ハサイダーが当たりました。

「踊る阿呆にみる阿呆、同じ阿呆なら踊らな、損！損！」何かのフレーズが頭に浮かびます。一年に一回、恥じらいを捨てて大きな声を出して踊ってみませんか。私の個人的な楽しみ方を書きます。ひと昔前の若い頃は食べて飲んで踊ってお祭り騒ぎ、この頃は参加する事で会える美麻地区の人達と一緒に踊る楽しみ、又、他の連と擦れ違う時、知り合いに会えた喜び、踊った後の高揚感。年齢とともに変化しています。準備してくださる方々のおかげで当日参加でも大

丈夫です。美麻に住んでまわりに同世代の近所がいらない方、来年は一緒に踊って知り合いになりましょう。（田中裕子）



アルプスおやき恋訪 in美麻開催

9/16

9月16日ほかほかランド美遊で、恒例の「アルプスおやき恋訪in美麻」が開催されました。今年も大町市美麻、小川村、長野市中条の3地域がそれぞれのおやきを持ち寄って販売を行いました。当日は台風の影響が心配されましたが、穏やかな天候に恵まれました。ジビエ汁の無料配布もあり、大変好評で大盛況でした。



美麻地区夏季球技大会

8/20

夏期球技大会が8月20日に行われました。心配された天候にも恵まれ競技には3種目6部門に175名の方からエントリーを頂き無事終了しました。今年の球技大会は新たな参加者を増やすためソフトボールからグランドゴルフに種目を変更しソフトバレーボールは男子の部と男女混合の部も行いました。

グランドゴルフの部には6チームと個人戦38名の参加がありました。講習会と練習を試合前に40分ほど行いましたが、1人でもグループでも男女を問わず和気あいあいとできる手軽な種目が好評でした。試合結果は次のとおりです。



○グランドゴルフ

☆団体の部

[優勝] 青具A、[準優勝] 新行A、[3位] 千見

☆個人の部

[優勝] 江津貞夫、[準優勝] 因幡秀一

[3位] 飯沢伸一

○ソフトバレーボール

☆女子の部

[優勝] 青具なでしこ、[準優勝] 新行

[3位] 二重梨の木峯

☆混合の部

[優勝] 千見、[準優勝] 青具

☆男子の部

[優勝] 新行、[準優勝] 青具おとこ、

[3位] 二重

○ゲートボール

[優勝] 二重、[準優勝] 大塩

大町美麻自転車ロードレース大会開催

9/3

今年は、第73回全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）として、全国から224人の選手を迎え、9月3日に開催されました。レースは、穏やかな晴天の中、女子は5周（63.0km）、男子は14周（176.4km）で争われました。

参加された選手の皆様、遠方より応援にこられた皆様お疲れ様でした。ボランティアでご協力いただいた皆様ありがとうございました。



支えていただき、
ありがとうございました。

全校で創り上げた梨の木祭 大成功!

9月
29・30日

美麻小中学校の文化祭“梨の木祭”が開催されました。今年は、昨年の40周年記念であった文化祭から、さらに歴史を一步一步刻んでいくという意味を込めて「踏み出せ前へ ～未来に繋ぐ 我らの文化祭～」というテーマを据え、全校で創り上げていくことを意識して準備から取り組んできました。その結果、達成感が得られる、思いで深い梨の木祭になりました。また、多くの地域の方に児童生徒の発表を見ていただいたり、あたたかな感想を寄せていただき、子ども達の自信になったと思います。本当にありがとうございました。(文責 田原 恵)

今年は第30回梨の木祭、節目の年であると同時に、私たち9年生にとっては、最後の梨の木祭であった。約1ヶ月という長いようで短い準備期間で準備をし、当日に備えていたが、やはりというか思い通りに事は進まなかった。だが、下学年と協力し、全校で作りに上げた良い梨の木祭だったと思う。
次の梨の木祭は8年生が中心に作り上げられる。私たちにできることは、今回の失敗を伝え、繰り返させないようにすること。そして、応援していくのみ。(小川良唯)



職場体験学習

7月
13・14日

美麻地区のそれぞれの職場で真剣に話を聞き、丁寧に仕事をする様子がありました。

「楽な仕事はないと知っていたけれど、やはり大変だった。」

「働いている人とのコミュニケーション・会話がとても楽しかった。自然に笑顔になれたし、働くのも楽しかった。」

「お客さんが笑顔で帰っていくのを見るのが嬉しかった。」

「農家の仕事は思っていたより幅広く、いろんな仕事をしていることが分かった。作物ができるまでの苦勞ややりがいを感じた。」

たくさんの感想が聞かれました。「働く」ということを、しっかりと「感じる」姿がありました。

各職場でお世話になった方々からも、「よく頑張ってくれた。真面目さを感じた。」
「一緒に働いていて楽しかった。」
などと、温かい声をいただいています。



緑の少年団 大北交流集会



夏の交流集会が白馬村で開催された。関係者の方々がご苦勞され、雨天時の会場として役場ホールを急遽設えていただいた。3、4年生有志による参加であったが、参加者を8グループに分けた縦割り班では、他校の友だちと共に「丸太切り競争」に参戦。さすが山の子美麻。チーム美麻として他校と連携し、見事優勝。ご褒美に綺麗な菜をいただきましたよ。

その後、ウッドアートのコーナーにて思い思いのアートにひたり、すてきなおみやげをこしらえました。関係者のご苦勞に感謝しつつ、貴重な体験ができたことをご報告いたします。



美麻の源流

梨の木峰学校下を源流とする金熊川探検を行った子どもたち。二重～大塩と川を辿っていくと八坂との境で大きく曲がりその姿を消したように見えた。子どもたちと「どこへ行ったのだろう」と調査を開始すると、信州新町で犀川と合流した。

この金熊川を発端にして美麻調べを進めていくと、地図上では美麻地区内に、土尻川・片岡沢川・丸切沢川・藤沢川・稲尾沢川そして金熊川ら六つの源流があることを知った。総合の時間を利用し、各川を探検していく中で、それぞれの川の様子がわかると1年生の時ペットボトルの船を木崎湖に浮かべた体験の感動が甦り、源流を筏で下り隊という願いが高まっていった。千見の小林さんの計らいで、生坂の大竹十数本を切りに行かせていた

下りたーい（隊）

だき、学校のプールで試乗をした後、川下りができそうな稲尾沢川～木崎湖の筏体験へと進んでいった。

父ちゃん支援隊による筏の組み立て、市教委の救命艇、ローボート、ライフセーバー松澤さんや塙さんらの支援を受けた子どもたちは安心して木崎湖横断に向かっていった。岸沿いから水深の深いアタックゾーンへと息を合わせ進んでいったこともたちは、一時間ほどでゴール地点の17棧橋に到着した。やりきった子どもたちの表情は達成感に満ちていた。多くの方々を支えられた「源流下り隊」バンザーイ！

美麻小中学校三年担任 小林 隆



仲間と力を合わせて ～爺ヶ岳登山～

山荘が見えたときの安堵感、山頂に立った時の達成感、ふもとで多くの方から「お疲れさま」と声をかけていただいた喜び。山に登ることで得られる様々な感情を7年生みんなで共有することができ、思い出に残る2日間となりました。

山荘が 見えてきた時、ホッとした
(青木萌花)
山頂で みんなで歌った 変わらないもの
(北村莉央風)
みんなでね 登ってやるぞ じいがたけ
(國吉幸大)
最後まで 登りきった チーム15
(小林咲希)
上登れ 目指せ頂上 SAS! (小峰輝士)
男子部屋 さわいで先生 腹立った それと
同時に 腹鳴った (齋藤 優)



きりの日に わっせわっせと 山登る
(鈴木こころ)
山小屋で 我が強制 ダウトマン
(中村慶吾)
頂上を めざして登った あの日はね とても感動 思い出作成
(西條ひとみ)
山頂の景色はとても綺麗ダス 登山で心も綺麗ダス
(巻田陽也)



卒業証書を手作りして



8/21

美麻小中学校の6年生と9年生は「松崎和紙」の職人である腰原さんのご指導により、学校の校章の入った卒業証書を制作しました。卒業証書を作る傍らで、植物や毛糸、スパンコールなどをすき込んだはがきも制作しました。初めに9年生が作り方を教わり、後半から作成に取りかかった6年生に教える姿があり、小中一貫の良さが表れた活動となりました。子ども達も「紙すき」という大町市の伝統工芸に興味をもって取り組みました。

和紙での卒業証書作りは、とてもいい経験になりました。自然の物にふれ、日本の伝統にふれられるという貴重な体験はめったにないと思います。完成した作品は丁寧に保管し、大事にしていきたいと思います。もし叶うなら、もう一度やりたいです！！

心温まるひととき

～美麻地区人権を考える市民の集い～

美麻小中学校からは、6年生の倉品誠夏さんと8年生の米窪愛花さんが意見発表をしました。「積極的に人とかかわること」や「視点を変えてものごとを見ること」の大切さを地域に堂々と訴えました。

牧美花さんのトーク&バイオリン演奏では、温かい音色と心温まるご講演にたくさんの感動をいただきました。文責 竹村 沙織

◆「この左手であったからこそ、今の人生がある。」という言葉が心に残りました。前向きな考え方と、感謝の思いをしっかりとっていて、すてきだなと思いました。私もそんな大人になりたいと思いました。

(7年 鈴木こころ)

◆ もしどこかが不自由だったり障がいがあったりしても差別してはいけないことや、戦争なんかやめて平和を目指そうということを考えました。僕も、自分のできることをして、役に立てるようがんばりたいです。

(7年 巻田陽也)



自分の壁を、 チームの壁を 『こえろ』

昨年は残念ながら荒天中止となってしまったアドベンチャー学習が、8月29・30日に小谷村の日本アウトワードバウンド協会長野校で行われました。ロッククライミングを始めとする数々の課題を、個人やチームで頭と体を使いながら果敢に挑戦しました。時間の経過とともに8年生が逞しくなってきました。



- ◆ 他の方の大切さを、より感じ取れたし、自分だけの限界も見つかった。限界を超えるにはいろんな支えがあり、力が必要。周りを大切にしていきたい。(8年 海端悦郎)
- ◆ 自分を追い詰めることができました。限界を超えることができました。今までと違い、やる

- ときはやるなど、8年生の学級目標「価値観をぶっ壊せ」ができたような気がしました。(8年 大西冬真)
- ◆ 自分のはたまたま辛いことから逃げるときがあって、でも逃げずに最後までやりとげられた。これからも限界を超えたい。(8年 宮下和也)

～ 浴衣着装体験学習(家庭科) ～

和服の文化を 知ろう、楽しもう

7/21 家庭科の衣生活をより豊かにするための学習として、和服について学びたいという意見が8年生から出てきました。講師をしていただけの先生についてコーディネーターの前川さんに相談したところ、学校支援隊のみなさんの協力を得て、装道分院新津きもの学院の

新津とし子さん、美麻支所の丸山令江子さんを講師にお招きすることができ、浴衣着装体験学習「和服の文化を知ろう 楽しもう」の授業を実施することができました。

はじめに、着る人の人柄が着装に出るといふ着物の特徴や四季の美しさを取り入れた柄のお話など着物についてやさしく説明いただきました。その後講師の先生にお手伝いいただきながら全員が自分で浴衣を着る体験をしました。ふだんと違う姿に生徒達は少し照れくさそうにしたり、おしとやか(?)になったり。和服を楽しむことができました。



美麻オープンスクール に大勢が来校

9/2

「美麻オープンスクール」では、美麻小中学校の特色であり普段から取り組む元気アップ運動と対話による学び合いの授業「協働の学び」)

を参観していただいたり、学校説明会を行ったりしました。

本校は、旧大町市内在住であれば手続きを終了上で、通学区を越えて本校へ通学することが出来る小規模特任校です。(本年度現在12名のお子さんが小規模特任校制度によって元気に通ってきてくれています。)当日は、

地域食材を生かした調理 岩魚の塩焼きを作ろう

美麻岩魚クラブの皆さんが丹精込めて育てた岩魚を使って塩焼きを作る調理実習が9月12日に行われました。地域の食材のよさを知り、尾頭付きの丸ごと一尾の魚の調理を学ぶ貴重な機会は今年で3年目を迎え、毎回美麻岩魚クラブの皆さん、種山博茂さん前川浩一さんに協力をいただき実施しています。

新鮮な岩魚の姿に歓声をあげた8年生は、初めはおっかなびっくりえらや内臓をとりだしていましたが、串を打ち、香ばしく焼き上がった岩魚を、最後は頭や骨まで丸ごときれいに食べていました。

生徒の感想より：いつもは調理されたものを食べているけれど、調理する人は、いつもこのような大変な処理をしているのだと思いました。種山さんをはじめ美麻岩魚クラブの皆さんが朝早く起きてとっていただいた新鮮な岩魚を使えるのは、とても贅沢なことだと思いました。感謝の気持ちを込めて骨までおいしくいただきました。

(文責 額村昌子)



保護者や地域の皆様はもちろん、市内で特認校による通学を検討する親子や、県外や県内からは、本校が進める小中一貫教育やコミュニティ・スクールについて関心を持つ学校関係者等、大勢ご来校いただきました。

授業を参観された方からは、「子どもたちが生き生きしていた。」「子どもたちが自主的に考え意見を言う様子は、子を持つ親としてうらやましいです。」「グループやペアの学習が取り入れられ、とても学ぶ意欲の高い子どもたちの姿が見られました。」等の感想をいただき、本校で取り組む対話による学び合いの授業の良さを感じていただけたオープンスクールとなりました。ご来校いただいた皆さん、ありがとうございました。

防災意識を高めよう

～避難訓練・引き渡し訓練～

9月2日(土)オープンスクールと日と同じくして、避難訓練・引き渡し訓練を行いました。大きな地震が来た設定での訓練でしたが、子どもたちは素早く机の下にもぐり、真剣に避難をすることができました。その後の引き渡し訓練では、緊急メールを配信し保護者の方に学校まで子どもたちを迎えにきていただきました。何も起こらないことが一番ですが、こういった訓練をすることで、緊急時の行動の仕方と考えると共に、普段通りに生活できることのありがたさを感じることができるのではないのでしょうか。文責 中澤 博子

◆ 避難訓練がありました。今回もサイレンがなったらすぐに机にもぐることができてよかったです。私は親を待っている間に、もし、本当に学校が地震でこわれたら…と想像していました。本当に火事、地震だったときはこわいです。なので、これからもしっかり訓練をしたいです。

(6年 倉品誠夏)

美麻小中のキャッチフレーズを考えよう

9/1

昨年に引き続き、今年も日本スピーチ・話し方協会のコミュニケーション・デザイナーである池田諸苗先生にキャッチフレーズについてのご指導を5～9年生が受けました。身近なキャッチが例として出され、「わかった～」と和やかな雰囲気となりました。

「①何のために、②何を、③どのように」相手意識を持ちながら伝えるかの説明の後、事前に考えたキャッチフレーズを手直ししていただきながら、今後の市民科の発表に向けてどうすればよいか、考える時間となりました。

◆ 去年は「伝えるより伝わる」が本題だったが、今年はキャッチについてやった。例えば、「カラダにピース」がある飲料会社のキャッチであるように、文章を相手目線に変えたり、興味をひくようなものにするための言葉選びが大事ということを学びました。（8年 吉田 哲）

みんなのキャッチを見てみよう

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 22 | 美麻の学校の人は、笑顔満点！一緒に満点とってみない？
美麻小中学校 |
| 23 | みんな仲良く 対話マスター になろう |
| 24 | のどかな学校で仲良く勉強しませんか？ |
| 25 | みんな明るい 元気な学校 |
| 26 | 元気アップで 体力もUP |
| 27 | アメリカの人と楽しい交流を してみたくない？ |
| 28 | 美麻にこないと 損するよ |

住促進住宅「桜台団地」入居のご案内

募集の期間 平成29年11月1日（水）～11月30日（木）

※ 郵送申し込みは11月30日必着です。

入居の要件 : 同居親族がいる方、所得が一定額以上などの基準にあう方

入居決定日 : 平成29年12月中旬

入居の時期 : 入居可能日から30日以内

住宅の内容 : 木造2階建（戸建住宅） ※敷地内に家庭菜園、駐車場あり

※その他詳細は、定住促進住宅募集要項(桜台団地)をご覧ください。

家賃 : 21000円～36000円/月額

※入居者の子供数により減額されます。

敷金 : 家賃の3ヶ月分

位置 : 大町市美麻

(大塩) 3363番地



【問い合わせ先】
大町市美麻支所
産業建設係
0261-29-2311



■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info